



久留米市役所 女性の管理職 まだ19%



ふじばやし

予算委員会

国の目標 30%なのに

ふじばやしは、女性管理職が少ない理由を質問しました。久留米市の目標20%にも届いていません。

市は、「職員の男女比が年代によって違っていている。30代は男女半々。20代は女性が多い。50代は女性が少ない。30年前の女性の採用の少なさが、今の女性管理職の少なさにつながっている」と答弁しました。

国は「第5次男女共同参画基

今年1月に市長選があったため、3月は暫定予算、そして6月が本予算でした。ふじばやしは、予算委員会でも43項目の質問をしました。

女性が一度もついたことのない管理職ポストは4分の3もある

本計画で、「2020年代のできるだけ早期に女性管理職比率を30%に引き上げる」という目標を掲げています。

民間企業も女性の管理職比率の公表が今年から中小企業（従業員101人〜）に拡大されました。民間の模範となるべき市役所は、女性の管理職登用にもっと積極的になってほしいです。男女の区別なく、力を発揮できる職場は、住民サービスを向上させます。

この偏りは問題です。ふじばやしは、昨年の決算委員会でも、部ごとの行政職の男女比を尋ねたところ、上下水道部、農政部、都市建設部は極端に女性の比率が低いことがわかりました。

若い時から役所内の異動を男女平等に行っていないことも女性管理職の少なさの一因であり、その背景にアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）があるとふじばやしは指摘しました。

市は、改善すると答弁しました。

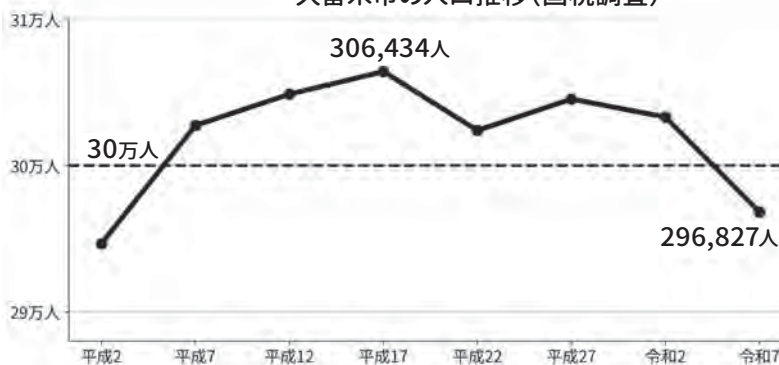
男性職員の育休取得は、100%

になりました。

男性も家事育児を担うことは、若い世代にとって当たり前になりつつあります。

人口が減っても持続可能なまちづくりへ ～ 久留米市の人口、30万人を切る ～

久留米市の人口推移(国税調査)



資料：国税調査

令和7年国勢調査と今年1月1日の人口がともに30万人を下回り、久留米市は事業所税を課税できなくなりました。約500事業所の負担は計12億円軽減されますが、市は交付税で補われても実質約3億円の減収となり、財政はさらに厳しくなります。人口減少は避けられません。インフラ維持や労働力不足などの課題を見据え、縮小社会を前提に、市民が幸せに暮らせるまちづくりへの転換が必要です。

外国人コミュニティに 防災リーダーを



久留米市の外国人は、7160人。
人口の2.4%です。

外国人が防災に取組めるよう、工夫が必要です。
外国人コミュニティやそのリーダーに役割を担っていただければ？と提案しました。

また、防災に限らず、**多文化共生の所管部署**を決めるよう求めました。

いじめの相談窓口を 学校、教育委員会以外に作って

「いじめは、先生に相談しにくい。」「教育委員会に相談しても学校に伝わるし・・・」ということを知ります。福岡県のいじめレスキューセンターは、県教育委員会から独立していますが、「県は遠く感じる。敷居が高い」とも聞きます。

そこで、「久留米市に教育委員会ではなく、独立したいじめ相談窓口、または、子どもの権利相談窓口を設置しては」と提案しました。

大津市や宗像市などの取り組みが参考になります。市は、「**必要性はあるので、今後、検討する**」と答えました。

ふじばやし注目の事業

★空き家活用居住誘導補助金	1,400万円
★5歳児健診	61万円
★働く世代の健康づくりの支援事業	116万円
★持続可能な生活支援交通の検討	806万円
★奨学金代理返還支援制度導入奨励金	600万円
★畜産緊急暑熱対策事業費補助金	2,711万円
★中学校1年生を全員美術館に	515万円

予算委員会でのふじばやしの質問・討論

令和8年度予算



市の協働は次のフェーズに入ったと思います。
市が補助を出して、「市の事業の延長で市民に一部を担ってもらう」から「対等な関係で市民の発想や活動をいかした事業をする」へ。さらに「クラウドファンディングや休眠預金など、資金を市以外から調達し、やりたい事業をやっていく」と変わってきました。
こうなってくると、市民活動に**しなやかに巻き込まれる力**も市に新たに求められていると思います。

子どもの主体性を尊重した事業展開を期待します。

共生社会づくりは、「ともに学ぶ」から

今年の3月議会で、障害児とともに学ぶインクルーシブ教育をすすめることを質問しました。教育委員会は「特別支援学級(学校)在籍数が**10年で2.1倍**になったことは問題。ともに学ぶことをすすめるためには、**入学前の関係機関との連携**がさらに必要」と答弁しました。

そこで6月の予算委員会では、入学前の障害児に関わる子ども未来部、障害者福祉課に対して教育委員会との連携を問いました。市は「保育園や児童発達支援事業所、幼児教育研究所、相談支援事業所などが、〈共生社会づくり〉を理解し、教育委員会と具体的に連携するよう取り組む」と答弁しました。

令和8年度予算

廃止予定の市営住宅 からの転居に補助

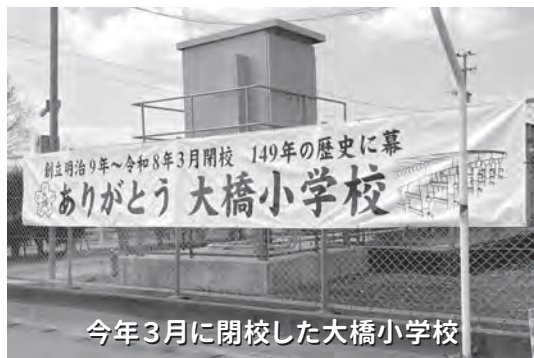
老朽化し廃止する市営住宅から他の市営住宅への転居が難しい方に、**民間住宅に転居**するという選択肢を増やす新規事業です。家賃の差額を4万円まで市が払います。

今後、昭和40年代に建設した**大規模団地の建替え**には、多額の費用が必要です。一方、市内の賃貸住宅には、**空き**があります。セーフティネット専用住宅の制度を使って国の補助を活用する取り組みを今後、広げてほしいです。



市有地の売却、スピードアップを

使わない市有地は一般競争入札で売却し、買い手がなければ先着順で売ります。それでも売れない場合は最低売却価格を引き下げますが、値下げまで約1年半かかります。早期に売却・活用できるよう、値下げ時期を早めるよう提案しました。



今年3月に閉校した大橋小学校

共同ホール跡地は解体と並行して、検討をすればもっと早く活用できたはずです。

学校跡地の活用は、地元や保護者、こどもの理解が得られるところでは、早めに統合後の活用検討を始めてもいいのでは、と提案しました。

久留米市にも夜間中学校をつくってほしい。



9日 女性議員を増やそう
筑後七国プロジェクト



9日 久留米市戦没者慰霊祭に来賓出席。

4日 久留米児童合唱団定期演奏会



29日 北筑後地区メーデー

27日 石橋文化センター開園70周年記念式典

22日 長門石校区まちづくり振興会総会

19日 六角堂広場、舞来祭に参加。ビジネスコンテストで、久留米大学の学生さんがプレゼンしていた企画。

11日 ふじばやし春のついで



10日 長門石小学校入学式。新1年生は、52人2クラス。

5日 久留米市視力障害者協会総会

久留米市身体障害者福祉協会総会

4月

ふじばやし あっちこっち



13日 久留米市ろうあ協会主催の講演会に参加。満州から命がけで帰還した道、85歳が語る戦争体験。

14日 西自治会防災講座 防災士自治会役員として他の防災リーダーと3人で担当。

7日 障害者差別をなくす学習会に参加(くさみホール)

1日 暴力団壊滅市民総決起大会

6月



29日 自治会対抗ポッチャ大会

29日 久留米市開発公社理事会

28日 長門石更生保護女性会総会

31日 大学生の時のボランティアサークルのOB会に参加。

25日 建設常任委員会 杉谷埋立地現地調査

24日 にじいろCAP研修会で講演した。イチからわかる障害児の権利保障に関する制度。

19日 アーティゾン美術館(旧ブリヂストン美術館・東京)を議会運営委員会のメンバーで訪問。石橋財団の常務理事に面会。議会からの感謝をあらためてお伝えした。

17日 「團伊玖磨と久留米」メモリアルコンサートに感動(シティプラザ)

最後は、九州交響楽団、東京混声合唱団、観客みんなで、合唱組曲「筑後川」河口を歌った。

アンコールは写真撮影許可が出た

17日 「團伊玖磨と久留米」メモリアルコンサートに感動(シティプラザ)

最後は、九州交響楽団、東京混声合唱団、観客みんなで、合唱組曲「筑後川」河口を歌った。

アンコールは写真撮影許可が出た



アンコールは写真撮影許可が出た

ある雨の日

作：あい



聞いてよ

藤林さん！！

ペンネーム 焼き鳥は豚バラ



関東に10年近く住んでいたのですが、昨年、実家のある久留米に戻ってきました。九州を離れて東京で過ごし、都会の価値観に触れたからこそ感じたのが、まだ久留米って20年くらい前のまま？ということです。

実は東京って、すごく過ごしやすいんです。いろんな人がいすぎて、私みたいに40代独身なんてそのへんにゴロゴロいる。珍しくもなんともない。誰も自分を気にしないから、ありのままの自分でのんびりいられるんですよ。だから久留米に戻って、初対面の人に「旦那は？子どもは？」と聞かれたときは、目が点になりました。

10年前に九州で働いているときによく「彼氏は？結婚は？」と聞かれていた時以来の面倒くさい質問です。この手の質問、本当に東京では少なかったんです。記憶にあるのは1回だけ。久留米に戻ってからは、1年かからずに数回は聞かれましたよ！ 笑

東京は人口が多いので多様性の母数が大きい。幼いころから身近に多様性があふれているので、「結婚している人もいるし、していない人もいる。その理由も様々。そもそもプライベートの話」という意識があるそうです。

ママしてる同僚が言っていました。その感覚、大事ですよ。



ほんと、そうですよね。

20代～40代の女性に「東京の方が居心地がいい」と思わせてしまう地方の問題なんだ！ということにもっとスポットを当てるべきです。

ジェンダー平等だけでなく、性の多様性や障害者との共生、外国人との多文化共生など「いろんな人がいて当たり前」「違う生き方もOK」という社会にならないとどんな人にも生きづらい社会なんだ、と思います。

少子化対策や自殺対策は、表面的な対策だけでは解決せず、こういう**息苦しい社会のあり方を変えていかなくちゃ！**と思います。

“焼き鳥は豚バラ”さん、

教えてくれて ありがとう！！

一緒に社会を変えていきましょう

近ごろのふじばやし

4日間の予算委員会で
1.5kg 体重が減りました
そういえば、決算委員会に
出たときは、
2kg減りました。
(終了後すぐ回復しますが)
(選挙でもやせないのに)
1日中ずっと座ってるし、普段と
同じ量の食事なのに、なぜ？
頭をフルに使うと
体重が減るのでしょうか？



ジェンダー平等：性別に関係なく、一人ひとりの人権や個性が尊重されること